

出雲の國づくり実践のとき

平成17年度市長施政方針演説



5月27日、出雲市議会定例会が開会し、その冒頭で、西尾市長が新「出雲市」のまちづくりの基本指針や、平成17年度の施政方針を表明しました。市長が掲げる6つの柱に沿って主な重点施策を紹介します。

「団結して取り組めば、日本全国に輝く出雲の國が誕生すると確信しております。出雲のルネッサンス、島根のルネッサンスに向かって前進、前進また前進しようではありませんか」議会の開会にあたり、新たなまちづくりへの意気込みを述べる西尾市長
(5月27日 市議会議場)

施政方針全文は出雲市のホームページ市長のサイトに掲載しています。

新市まちづくりの基本指針

「住民が主役のまちづくり」

対話と交流による市政を目指し、市政懇話会などで各地域の状況を把握し、的確な市政の推進に努力します。旧市町単位に置かれる地域協議会からの諸提言を受けて、市政に反映させます。

「地域特性が光るまちづくり」

新市は、商都平田市、門前町大社町、自然資源豊かな佐田町、多伎町、湖陵町、市場町を中心に発展を遂げてきた出雲市が結ばれる、極めて発展の可能性が高い自治体です。
相互の協力により、躍動的なまちづくりへ大転換していくため、地域特性の輝きを一層高める特産品の開発、マーケットの

「地方分権時代に 対応するまちづくり」

拡大、伝統文化の活力増進など、特段の工夫を凝らします。

国依存の体制から脱却し、自らの選択と創意工夫によって21世紀を切り拓いていく地方分権自治への意識改革と実践が必要です。新市建設計画に基づき、合併後10年を展望した総合振興計画(グランドデザイン)を策定し、事業の実現に努めます。

行財政改革推進本部を立ち上げ、大綱および実施計画を策定し、効率的かつ長期的に安定した市政を運営していきます。
市役所本庁舎改築問題についても、優先すべき事業に配慮しながら、市民の意向や市の将来の姿を見極めつつ、調査・検討に取り組んでいきます。

重点施策 21世紀産業都市の創造

- 新ビジネスパークの形成**
山陰自動車道出雲インターチェンジ開通に向け、医療福祉、IT関連や研究開発型のビジネスの集積を目指し、新ビジネスパークの形成に努めます。
- 新ビジネスパーク開発プロジェクトの推進**
・新エネルギープロジェクトの推進
・日本最大の風力発電所の誘致

新エネルギー戦略

風力や木質バイオマスなどを活用した新エネルギー関連企業の誘致を図ります。また、水素社会構築に向け、産学官連携による取り組みを展開します。

平成15年から発電を続けるキララタワーリマキ風力発電施設



観光戦略・交流人口1000万人実現へ

市行政組織に文化観光部を設け、豊かな観光資源を最大限整備・活用・ネットワーク化するとともに、観光客の受け入れ体制やPRのための情報発信体制を強化します。

また、その中で、阿国座の創設や温泉活用など、門前町大社の活性化対策を総合的に検討します。



- ・「神話の夢舞台 出雲」創造条例(仮称)の制定
- ・推進ビジョンの策定
- ・観光戦略プロジェクトの推進

“神話の夢舞台出雲”を全国にアピールするため、首都圏に張り出した観光ポスター



出雲の國のシンボルである出雲大社の門前町を整備し、にぎわいを創出します

重点施策 21世紀出雲神話観光大国の創造

重点施策 21世紀都市・交流拠点の創造

- 新交通システムの構築**
地域の実情、住民ニーズを総合的に分析し、また、観光客の利便性にも配慮した新市にふさわしい新交通システム(バス、電車など)の構築に向け検討します。
- 新交通システムプロジェクト**

重点施策 21世紀環境先進都市の創造

- 世界一リサイクル都市・出雲の実現**
世界一のリサイクル都市の実現を目指し、ゴミに関する3R(リデュース、リユース、リサイクル)の促進に強力に取り組みます。
- ・環境基本条例の制定
- ・環境審議会の設置
- ・環境基本計画の策定